令和3年度第2回総合教育会議

資料２

１．リモート等による家庭などでの学びの期間（9月3日～9月10日）における市内小中学校での１人１台端末を活用した取り組み

１・家庭と学校をつなぐ

『GoogleClassroom』
・ストリーム（掲示板）への書き込み
・Forms Meet ドキュメントへの連携

『GoogleForms』
・健康観察（検温）
・欠席連絡
・アンケート（調査）

『ドキュメント』
・学校からのお知らせ
・学校、学級便り
・学習予定表

『GoogleMeet』
・オンライン朝の会
・オンライン質疑応答
・オンライン教育相談
※Classroom から直接参加可能

リモート時教師側端末イメージ 例

Meet 用端末

※同一アカウントで Meet に同時接続

ロイロ・e ライブラリ・GoogleWorkspace 等 画面共有提示用端末

２・リモート等による学びの保障

オンライン会議アプリ

『GoogleMeet』
・学習指示
・板書提示
・質疑応答　　等

授業支援ソフト

『ロイロノート』
・課題の配信
・録画した教材動画配信
・児童生徒のカード作成
・意見の共有
・動画での課題提出　等

クラウドツール

『Forms・スプレッドシート・ドキュメント・スライド』
・アンケートや意見の自動集計
・同時編集による共同作業
・自動採点の小テスト　　等

デジタルドリル教材

『e ライブラリ DL 版』
・課題の配信
・ドリル教材の取り組み
・自動採点
・課題提出　　等

2.「リモート等による家庭などでの学び」の期間を振り返って

(1) 成果

【Wi-Fi環境】＝ 全児童生徒が持ち帰ることで各家庭でのWi-Fi接続が大きく進んだ。

・昨年度調査（令和2年5月）ではWi-Fi未整備家庭は6.3%（719名）であったが、今回調査（令和3年9月）ではWi-Fi接続未整備家庭は0.81%（93件　109名）と、整備率が大きく向上していることが把握できた。

【オンライン会議アプリ（Meet）について】＝ 今後も有効に活用できるツールであると確認できた。

・集会に加え合同授業や、中学校区間の児童生徒交流、外部講師との連携など、今後も有効に活用できるツールであると確認できた。

・Classroomからアイコンをクリックするだけで接続できるので、慣れれば小学校低学年でも簡単に操作できた。

【GoogleWorkspaceについて】＝ Classroomでの発信をはじめクラウドツールの活用が進んだ。

・ClassroomからのMeet参加や掲示板での連絡だけでなく、ドライブを通した学校便りの発信や、フォームでの健康観察など、各校において活用の幅が広がった。

【授業の流れや内容について】＝ 双方向のやり取りが可能なロイロノートは有効なツールであった。

・ロイロノートの「返却」を活用して子どもが学習したもの（ドリルやプリント）に添削やアドバイスを行うことができた。

・各家庭に場所は離れていても、互いの考えを一覧で表示できる画面共有は、児童生徒にとって学びを深めるだけでなく、コミュニケーションの場としても大変有効であった。

【児童生徒・保護者の様子】＝ 家庭からでも教師やクラスの友だちとつながることで安心できた。

・児童生徒は顔を見合える時間ができたことで、保護者は先生と子どもがリアルタイムでつながる時間ができたことで、それぞれ安心することができた。

(2) 課題

【Wi-Fi環境】＝ 各家庭のWi-Fi整備率を100%に近づける必要がある。

・Wi-Fi環境が整っていない場合、対象児童生徒にはルーターの貸し出しについて案内したが、機器の貸し出しのみで、その他の費用がかかることや契約手続きの手間、様々な事情で契約そのものができない家庭もあり、申請を断るケースが複数あった。

・各家庭のWi-Fi接続の契約形態（通信容量・通信速度）によっても、学校が迫られる対応が異なった。

【オンライン会議アプリ（Meet）について】＝ トラブルが多く発生し対応に苦慮した。

・同じ部屋で複数台がマイクをオンにするとハウリングがおこった。家庭で兄弟関係など複数台接続する場合は場所を離す、可能であれば部屋を分ける、発言時以外マイクをオフにするなどの対応を呼びが必要だった。

・指導者用iPadで授業支援ソフトを使用し授業を行い、別の端末で児童生徒の画面を表示すると効果的であった。しかし、指導者用iPadや校務用PC等、今以上に機材を充実させる必要がある。

【GoogleWorkspaceについて】＝ トラブルが多く発生し対応に苦慮した。

・アカウントの再入力を求められる事案が続出し、リモート開始初期は学校の電話が鳴り止まない状況になった。Classroomなどで状況・対処法を伝えたことで問い合わせは減ったが、年齢が低いほど、自力での解決が難しかった。ICT支援員が来校した学校はトラブルに対応が迅速に行えた。

【授業の流れや内容について】＝ 通常の授業と手法が全く違うため今後も研究が必要。

・板書を写すだけの一方的な配信では、児童生徒の集中が続かなかった。意見の画面共有や一覧表、資料の拡大提示、動画の活用など、学習目標に応じて様々なツールを組み合わせる必要がある。

・学校間、職員間に取り組みの差が生じてしまっている。市内全教職員のICT活用を含めた授業力の向上が望まれる。

【児童生徒・保護者の様子】＝ 児童生徒・学校・保護者ともに情報モラルの向上が求められる。

・リモート授業で、子どもたちが集中して画面を見る時間が長いので目が疲れてくるという訴えが複数あった。意識して画面から目を離すという時間を設けて対応していく。

・Meetのコメント機能での授業と関係ない発言や、児童生徒だけでなく保護者からもSNSへの不適切な投稿があった。情報モラルについて指導を行う必要がある。

(3) 取り組みを通しての声

〇児童生徒

・私の一週間リモート授業をした感想は、リモートはとても便利だと感じたことです。コロナの影響で普通に授業ができなくなっても、リモートで自分の家からできるので休校と違って授業ができることがいいと思いました。メッセージ機能などもあるので、休校の時より友達と話したりできるので嬉しいです。コロナも心配なので、リモートができて嬉しかったです。

・私が一週間リモート授業をした感想は、先生の声が聞こえなかったり黒板があんまり見えなかったこともあったけど、みんなと久しぶりに授業ができたので良かったです。授業が終わった後に、みんなで絵を描いたりできて、すごく楽しかったです。でも、みんなと学校で授業をしたいです。早くみんなに会って、小学校生活最後を楽しく過ごしたいと思います。

〇保護者

・家庭で子どもたちがスムーズにiPadを操作する姿に驚いたという声が多かった。

・接続できない間に進んでしまった授業内容についてのフォローはどこまでしてもらえるのか、家庭では子供が困ったときに対応ができないので学校で預かって欲しいなどの声があった。

(4) 教育委員会として

□端末の持ち帰りに際し、家庭でのWi-Fi接続は必須。**改めて保護者に協力を文書にて依頼する。【資料3】**

□今回、各家庭でWi-Fi接続できたことは、今後の端末持ち帰り活用の推進に繋がる。**オンライン授業の実施や一人一台端末の日常的な持ち帰りに伴い、持ち帰りルールを見直す。【資料4】**

□GoogleWorkspaceのドライブやフォームなどクラウドツールの活用に併せ、**セキュリティーポリシーを改訂し、校内各データの取り扱いについて確認。**

□全児童生徒がGoogleWorkspaceにログインを終えたと考え、今後**シングルサインオン（GoogleWorkspaceのアカウント情報を使うことでID/PWの入力を省く）も進める。eライブラリについては10月末に変更予定。**

□ロイロノートは、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善のための有効なツール。**校内・中学校区・市内で積極的に活用事例を共有し、他自治体の先進的な事例も積極的に取り入れていけるとよい。**

□オンライン授業や一人一台端末の日常的な持ち帰りを想定し、**市内統一のオンライン授業対象者や実施判断、児童生徒の健康への配慮など留意点をまとめ運用規程に即したガイドラインを作成。**

資料3

保護者への協力依頼文

保護者の皆様の御協力をお願いいたします。

桑名市学習者用端末(学習者用iPad)運用規程をご確認いただき
下記の①～④について各ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

①お子様のiPad活用の見守りをお願いします

☐ 学習者用 iPad の活用について、お子様とよく話し合い、ご家庭のルールを確認して下さい。
- ・各ご家庭で作成していただいた「学習者用 iPad を持つにあたっての約束」を、再度ご確認いただきますようお願いいたします。(新しい用紙が必要な場合は担任にご連絡ください)
- ・使用時間(スクリーンタイム)、夜間の保管場所、データの確認日を設定し、定期的に写真・データ・検索履歴の確認をするなど、お子様の学習者用 iPad 活用の見守りをお願いします。

☐ お気づきのことがあれば、学校までご連絡ください。
- ・セキュリティ上、有害サイトに入れないよう、フィルタリングソフトによる閲覧制限を設け、許可されたアプリ以外はインストールできないように設定されていますが、お気づきになったことがあれば学校へご連絡ください。

②ご家庭のWi-Fiへの接続をお願いします

☐ 可能な場合は Wi-Fi 接続の設定をお願いします。
- ・ご家庭の Wi-Fi 環境に接続することで、デジタルドリルや授業支援ソフトの活用、及びクラウド型グループウェアによるお知らせが可能となります。一か月に使用する通信容量は3GB 程度となる予定ですが、データの活用やオンライン会議アプリの使用等により増加する場合があります。
- ・ご家庭に Wi-Fi 環境が無い場合は、各アプリのダウンロード機能で対応させていただきます。

③ご家庭での充電をお願いします

☐ 各ご家庭で充電器のご用意をお願いします。
- ・学習者用iPadを持ち帰った際、翌日の学校での学習活動に支障が生じることのないよう、ご家庭での充電にご協力をお願いします。
- ・ご家庭に iPad で使用可能な充電器がある場合は、そちらをお使いいただけます。

④学習者用iPadは丁寧なお取り扱いをお願いします

☐ 学習者用iPad及びキーボード付きケースは保証対象となっています。
- ・学習者用iPadを乱暴に扱ったり水に浸けたりしないでください。机やテーブルに安置する等、機器の取り扱いにはご注意ください。「使用者の故意や重大な過失による事故」(置き忘れ、不注意からの破損等)については保証対象外となり修理費をご負担いただく場合がございます。

☐ 保護フィルム、充電器は保証対象外です。

☐ 破損、紛失、盗難または故障した際は速やかに学校へご連絡ください。
- ・破損、紛失、故障の場合は、できる限り詳細を学校へお伝えください。(時間外の場合は翌授業日で構いません)盗難にあった場合は、警察にて盗難届の手続きを行って下さい。

☐ 卒業時に返却をお願いします。
- ・卒業するまで「自分用」のiPadとして使います。桑名市からの貸与となりますので、大切に扱うよう、声掛けをお願いします。
- ・卒業時に端末本体の他、付属品(キーボード付きケース・フィルム)も学校へご返却ください。
- ・市外に転校する場合もご返却ください。市内転出の場合は学校にご相談ください。

資料4

持ち帰りのルール改訂版

○○学校『学習者用iPad持ち帰りのルール』について　【持ち帰り用】

令和３年 月 日

学習者用 iPad は○○の皆さんの学びが、より深く豊かなものになることを目的として、桑名市から貸与されるタブレットです。卒業まで使いますので、約束をしっかり守って、大切に使いましょう。

使用履歴や活用状況(データ通信量等)については、管理会社にて記録し、不適切な使用がある場合は、桑名市教育委員会を通じて、学校に連絡されるようになっています。

自分の学習者用 iPad (番号:　　)

学習者用 iPad の使用目的

☐学習者用 iPad は学習活動のためにのみ使用します。目的外の使用は厳禁です。

持ち帰りで守ること

登下校
- ☐必ず○○○に入れて持ち帰る。
- ☐登下校中は絶対に○○○から出さない。
- ☐タブレットは桑名市から貸し出されているものなので、大切に持ち運ぶ。

家庭で
- ☐家庭で決めたルールを守る。
- ☐「デジタルドリル」や「ロイロノート」など、学校で出された課題や、調べ学習を含めた発展的な学習に使用する。
- ☐カメラ機能やインターネットを使った調べ学習等はロイロノートのものを使う。

おやすみ前に
- ☐スクリーンタイムで使用しない時間を設定しておく。
- ☐バッテリー残量を確認し、80%以下の場合は、家庭の充電器で充電する。

オンライン授業の約束

Classroom の約束
- ☐必ず自分のアカウント(～mie-c.ed.jp)でログインする。
- ☐Classroom 内の課題や先生からの指示は、家の人以外には教えない。
- ☐Classroom 内で知った情報やデータは、先生の許可なく保存しない。
- ☐許可なく勝手に Classroom からアカウントを削除しない。

Meet や ZOOM の約束
- ☐授業中は原則カメラとマイク機能をオフにする。朝の会や帰りの会、その他先生の指示があった場合、カメラやマイク機能をオンにする。
- ☐カメラの背景には家の様子が分からないよう注意し、またバーチャル背景は使用しない。
- ☐オンライン授業中は授業の進行の妨げになるようなことはしない。
- ☐学習等以外で Meet や ZOOM に入室しない。
- ☐チャット機能や画面の共有は先生の指示がある場合を除き、使用しない。
- ☐授業で得た情報(データ)を SNS 等で外部に漏らさない。また配信された授業等の撮影、録画、録音はしない。

全体の約束

- ☐個人のアカウント ID やパスワード、オンライン授業の URL や Classroom の招待コードは人には教えない。
- ☐Google やロイロノート、e ライブラリ等は家のパソコンや携帯では使わない。
- ☐配布されたアカウントをネット上の登録や個人的なアカウント登録に使わない。(Gmail は使用不可)
- ☐Google やロイロノート、e ライブラリは学習目的以外では使用せず、ファイルの送り合いや共有を勝手に行わない。
- ☐授業で共有した友だちのデータを変更したり、削除したりするのは禁止する。
- ☐学校や許可された場所(自宅や学童・親戚の家など)以外での学習者用 iPad の使用や Wi-Fi 接続は禁止する。

桑名市学習者用タブレット端末運用規程で
禁止事項とされている行為は絶対に行ってはいけません!